

学童期の予防接種について

令和3年3月改訂

予防接種	接種回数		標準的接種期間	対象者	備考
日本脳炎	第2期	1回	9～10歳	9～13歳未満	※H24年4月～H25年3月生の方は、R4年度4月～順次個別通知します。R3年度に希望される場合には、窓口へ母子健康手帳を持参の上、お越しく下さい
日本脳炎 【※1 特例措置】	第1期	初回2回 追加1回		20歳未満	【※1 特例措置の対象者】 平成7年4月2日～平成19年4月1日の間に生まれた方
	第2期	1回			
日本脳炎 【※2 特例措置】	第1期	初回2回 追加1回		9～13歳未満	【※2 特例措置の対象者】 平成19年4月2日～平成21年10月1日に生まれた方は、 第2期の期間に第1期の不足分を接種 できます。
ジフテリア 破傷風 混合 (DT)	第2期	1回	11～12歳	11～13歳未満	※対象の方には、11歳の誕生日の翌月に個別通知しています。
子宮頸がん	サーバリックス	3回	中学1年生 (標準的な接種間隔) 2回目：1回目接種の1か月後 3回目：1回目接種の6か月後	小学6年生～ 高校1年生相 当の女子	同一のワクチンを3回続けて接種 ※平成25年6月から積極的接種勧奨の差し控えられています。接種に関しては、医師とよく相談してください。 詳しくは、桑名市ホームページをご覧ください。
	ガーダシル	3回	中学1年生 (標準的な接種間隔) 2回目：1回目接種の2か月後 3回目：1回目接種の6か月後		

予防接種の種類	助成対象者	備考
おたふくかぜ	1歳～3歳未満	1人1回のみ (2000円) 費用助成

接種前に気を付けること



安全に予防接種を受けられるよう、保護者の方は、以下のことに注意して、予防接種をお受けください。

- ◆お子さんの予防接種歴を、予防接種一覧を参考にして、必要な予防接種、接種回数、対象年齢を確認しましょう。
- ◆当日は、朝からお子さんの状態をよく観察し、普段とかわったところのないことを確認するようにしましょう。
予防接種を受ける予定であっても、体調が悪いと思ったら、かかりつけ医に相談の上、接種をするかどうか判断するようにしましょう。明らかな発熱や、急性疾患で治療を受けている場合は、予防接種を受けることはできません。
- ◆受ける予定の予防接種について、必要性や副反応についてよく理解しましょう。わからないことは、接種を受ける前に接種医に質問しましょう。
- ◆母子健康手帳は、必ず持っていきましょう。
- ◆予診票は、接種する医師への大切な情報です。責任を持って記入するようにしましょう。
- ◆予防接種を受けるお子さんの日頃の健康状態をよく知っている保護者の方が連れて行きましょう。
◇なお、予防接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種に同意したときに限り、接種が行われます。
- ◆接種後には必ず母子健康手帳で記載の確認をしましょう。

接種後に気を付けること



- ◆母子健康手帳に接種記録が記載されているか確認してください。
- ◆接種後30分程度は、医療機関でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- ◆接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ◆当日は、いつも通りの生活で構いませんが、激しい運動は避けましょう。
- ◆接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

